

## 8月11日太郎坊観望会

8月11日。今週一週間クマは夏季休暇に入っており、この機会を利用して富士山御殿場口五合目(太郎坊)で開催の丹星定例観望会に行ってきました。

太郎坊の場合、いつもは車道向かって右側の第4駐車場で観望しますが、この日は山屋さんに配慮したのか道路反対側の第3駐車場が開いていたのでこちらで観望しました。第3駐車場は下がアスファルトなのでドブ使いにはありがたいのです。

今夜は以前より丹星への入会を希望され、今回初めて観望会に参加されたMさんも来られ、今夜を以って正式入会となりました。🌟



Photo by うらしまさん

18時前に現地到着。既に会長ら2名先着してくつろいでおり、その後も続々とメンバーが集まってきました。

クマもドブをセットして光軸調整を始めます。開放感のある場内の様子が判るでしょうか。



Photo by クマ

最終的には13名もの仲間が集まりました。

今夜は翌日に控えたペルセウス座流星群極大日の前哨戦を兼ねた観望会でしたが、何故かドブが3本も並んでいます。まあ DeepSky と流星両方を楽しむのも、人それぞれ個性があって良いじゃないですか。

それにしてもタイヤ跡が酷いな。🌟



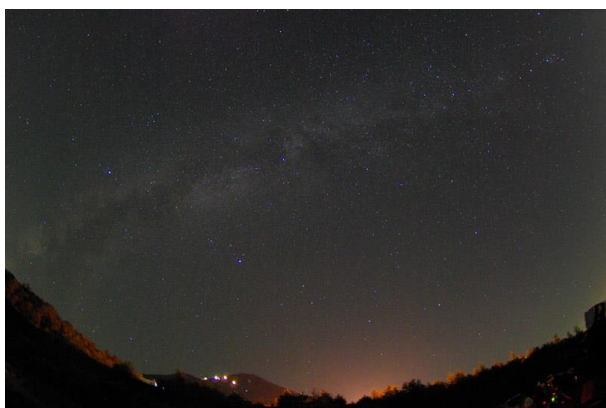
Photo by ねこにゃん

一番奥に設置中のドブは [Obsession-15in](#)。当日現地でご一緒したイギリス人の星屋さんたちです。お二方とも大変流暢な日本語を話されるので、会話にはまったく支障ありませんでしたが、米国生活の長いヒデアキさんやイズモトさんは英語で会話されていて、英語の不得手なクマにはちょっと不思議な光景。聞けば東京渋谷に在住されているそうで、富士山にもよく来られ、時には南半球まで星観に出向かれているとのこと。

渋谷からなら首都高 3 号線を利用すればほとんど高速道路だけで来られるわけで、こんな立派な機材をお持ちなら、東京の空で満足できる訳ないよね。

その後の会話も弾み何と、丹星に入会したい、と言われたのには吃驚。HP など活動状況を見ていただきしばらく様子見にさせていただきましたが、何ともインターナショナルなこと。

やがて日も暮れ雲ひとつない快晴の空に各々観望を開始。木星を観たところシンチレーションも結構良い。まだ鏡が冷えておらず高倍率が使えないものの、150 倍程度でもかなり細部まで見えています。1 時間ほど通して見ましたが、赤道付近の複雑な様子や表面に映る衛星の影が移動していく様子などがよく判りました。



うらしまさん作による対角魚眼による夏の  
天の川。

富士山の山小屋の灯りが一晩中煌々と点  
っているのがよく判りますね。

真ん中下の灯りが御殿場登山口になりま  
す。

Photo by うらしまさん

夜も更け、ここ太郎坊にしてはかなり上級の空になってきました。

流星もペルセ群、散在と合わせていくつか流れているようですが、クマここまで偶然ひとつだけ見たに過ぎず。これだけ空が良いと流星だけ見ているのももったいなくて、空に背を向けてドブで観ているため当たり前なんです。



Photo by ねこにゃん

この日に観た主な対象。今夜は市川本の対象を中心に狙ってみました。

・M57

天頂に昇ってきた時を狙って中心星にチャレンジ。UW8.8+2 倍パローの 380 倍で食い入るように見続けたが、リング内部のザラつきは判るものの中心星はアウト。

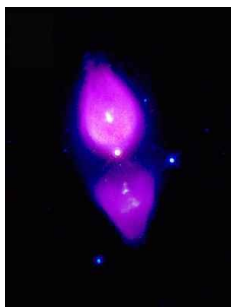
・NGC40

200 倍まで上げると、一部の途切れてたリング構造が確認できた。

中心星が明瞭に見える。

・NGC7008

人の顔のような特異な姿がOⅢとの併用により明確に見える。

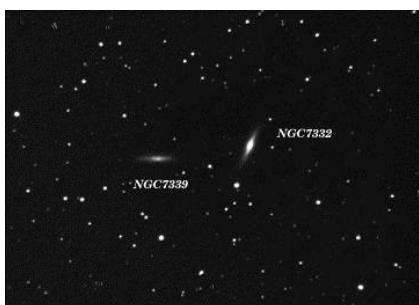


・Minkovski1-92 ※画像は HST 撮影のもの

アルビレオのすぐ北にあるチャレンジブルな対象。

FootprintNebula(足跡星雲)の別名を持ち、ドブの本場アメリカ辺りでは好んで見られる対象とか。HST の捉えたこの双極分子流の姿まではさすがに無理ですが、380 倍で歪なだるまさん状には見えたかも?

続いてペガサス～アンドロメダ周りの DSO を幾つか。



・NGC7332&7339

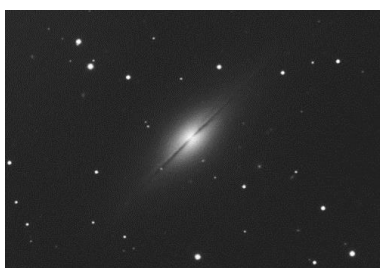
スピンドル状銀河が二つ並んで見える。空の状態が悪いと7339の方はそらし目気味になるが、天頂付近に来たときにはどちらもしっかりと見えました。



・NGC7479

しばらく見続けていると、右側の釣り針状の腕がかすかに見えてきた。

最上の空でもう一度見てみたい対象です。



・NGC7814  $\gamma$  Peg の北西にあるスピンドル状銀河。

$\gamma$  Peg から微光星を辿って導せねばならず、意外と導入に苦労する対象。大きさは実感できますが、写真にある暗黒帯は確認できませんでした。



・NGC891

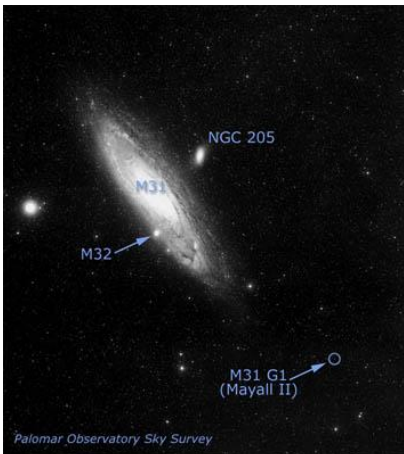
$\gamma$  And のすぐ東にあるエッジオン銀河。こちらは大きくて明るい対象です。暗黒帯がスッと一本入った姿も明瞭に見えました。

この付近は星数も多く、バックの微光星の中に浮かぶ姿はいつ見ても神秘的です。



・Stephan's Quintet(ステファンの五つ子)

ペガサス座の天体 NGC7331 の南 30' にある密集銀河群。最上の空なら 5 個全て、普段の新五合目でも 4 個は見えるらしいですが、クマのヘタレ目では 3 個しか確認できず。



・G1-And M31 の伴球状星団。

100 倍程度の倍率で M31 の端にある特徴的な星列を辿り、三角形の星の並びに辿り着くとそのひとつが G1。伴星団と言ってもご覧のように M31 本体からはかなり離れています。400 倍まで倍率を上げて見ると、G1 と 2 つの恒星で三角形を形成している様子が見えてきます。この日はそらし目気味でしたが、存在自体ははっきりと確認できました。2 年ぶりに見ましたが、アマチュアの機材で見える球状星団としては間違いなく最遠の対象でしょうね。

夕暮れから夜中の 2 時過ぎまでぶっ通しで走りましたが、睡魔と寒さが襲ってきたため車中でしばらく仮眠。結局このまま薄明が始まるまで寝込んでしまい、本日の観望はこれにて終了。👓👓👓  
やはり富士山は夏と言えども夜間の冷え込みは厳しいです。原村ではフリース一枚を着るだけで十分でしたが、富士山ではもう一枚は厚手の服が必要です。



最後に残ったメンバー全員で記念撮影。  
会長ほか 1 名はこのとき車中で👓👓👓  
この後解散となりました。

Photo by ねこにゃん

そういえばペルセ群、ほとんどまともに見てないや！👓👓

了